

ふれあい

第61号(平成28年10月31日)
阿品台コミュニティ 事務局(TEL39-4338)
阿品台地区人口・世帯数(平成28年10月1日現在)
人口 7,959人(163人減) 男3,676人 女4,283人
世帯数 3,400世帯(16世帯減)・高齢化率 33.6%(1.8%増)
()内の数値は平成28年2月1日との比較

憩いの場 阿品台地域サロン 「夢あじな」オープン!

阿品台地域サロン「夢あじな」が平成28年5月17日(火)にアジナモール専門店街にオープンしました。毎回賑わっているようですが、「夢あじな」代表の松井 美佐子さんとコミュニティ会長の関口禮伸さんに設立の趣旨などを伺いました。

☆設立の目的は？

地域の誰でも何の束縛もなく、時間内は自由に過ごせる憩いの場であり、One-Coinで喫茶や食事を楽しみながら気軽に談笑できる場とする。



☆運営体制や形態は？

毎週火・木曜日の10:00～15:00まで(第3木曜日及び祝日は休み)、運営スタッフは全てボランティアで構成されています。コーヒーや紅茶を飲みながら、「ホットー休み」、「おしゃべり」ができる場を提供し、テーブルを囲んだり、対面で交流できるようにしている。サロン参加者同士の情報交換の場としても利用できるようにしています。第3木曜日の食事は喫茶ルームでは手狭なため現在は市民センター隣の「コミュニティスペース」で11:30～13:30まで開催しています。



☆運営経費は？

広島県と廿日市市の助成金ほか、サロン参加料のみですが、地域の篤志家・ボランティアの無償供与で運営が成り立っています。



☆参加者の反応

(インタビュー・アンケートから)

- 近くにお茶を飲みながらおしゃべりできる処がなかったので楽しみが増えました。
- こんなに美味しい料理がいただけるなんて…来月もまた来たい。
- 友人と気軽におしゃべりできる場所ができた。
- フラット立ち寄れる場所ができてよかった。
- 何回来ても食事できなかった。

(2頁へ続く)

☆課題と今後の展開について？

現在の取り組みとしては順調だが、月1回の食事に関しては出来るだけ多くの方々に提供できるように工夫していきたい。そのために定期的に利用者アンケートの実施、包括支援センターなどとの情報交換によりニーズを把握し新しい企画へ繋げていきたい。

☆地域住民への要望や期待は？

地域住民へのPR不足か、今のところ常連化しつつあるので多くの方々の来訪を期待しています。

☆「夢あじな」からのお知らせ

◆食事会(第3木曜日)の場所は10月以降も市民センター隣のコミュニティスペース(入口に「コミュニティ消防センター」と表示)で開催します。

◆喫茶コーナーは12月13日(火)で今年の開催は終了します。翌1月10日(火)～3月30日(木)は諸事情によりコミュニティスペースでの開催となります。
なお、4月4日(火)からは元の阿品モール専門店街での開催となります。



平成28年度 コミュニティの前期事業

第37回阿品台夏祭り

7月30日(土)、第37回阿品台夏祭りが盛大に開催されました。今年も若い人の参加が目立ち楽しい祭りとなりました。ステージ上ではダンスや和太鼓などのアトラクション、盆踊りに打ち上げ花火と会場が大いに盛り上がりしました。

各町内会や日赤看護大学、PTAや商店などの夜店も賑わい沢山の笑顔に出会えた夏のひと時でした。



阿品台敬老会

9月19日(祝)敬老の日、台風16号の影響で途中から雨模様になりましたが、今年も日赤看護大学食堂に於いて阿品台地区75歳以上の対象者1,055名の内235名の方が出席され催されました。阿品台地区の日赤看護大学、廿日市西高校、阿品台中学校の各学校の学生、生徒さんの協力も得て敬老会は進められました。阿品台西保育園児による歌と踊り、阿巖太鼓による獅子舞いと太鼓、ハーモニカ演奏の最後に参加者全員で「ふるさと」を合唱、最後はリフレッシュ体操で身体をほぐして楽しいひと時を過ごされました。



文化部・女性部・青少年部

1. うつわ・はし作りと納涼そうめん流し

○日 時 8月20日(土)10:00~12:00

○場 所 阿品台市民センター 参加者40名(内子供25名)

昨年復活したそうめん流しが連日の猛暑の中、今年も開催されました。事前に用意された青竹を使って器と箸を、瀬戸物の破片で竹の切り口のバリをとり、滑らかにする作業を慣れない手つきでこなし、1時間程で自分用の器と箸を完成させました。

11時から待っていたそうめん流しの始まり。白いそうめんに混じって色付きのそうめんとプチトマトのオプション付きに子供達は大はしゃぎ。自作の器と箸を思い出に持ち帰りました。



2. 森林学習講座

～太田川源流の森を訪ねて～

○日 時 8月22日(月)9:30~15:30

○場 所 太田川源流の森(廿日市市吉和)
参加者22名

「太田川の源流の森」廿日市市吉和を訪ね、森のはたらきや豊かな森とおいしい水のかわりについて、専門講師のもと解りやすく説明していただきました。午後は全員で山に登り源流にあたる湧水を見学。小川に入り小魚を探し、冷たい水と森林のさわやかな風に源流の魅力を感じる体験学習となりました。



文化部・女性部

3. 母の日

カーネーションコンサート

○日 時 5月8日(日)13:30~14:50

○場 所 阿品台市民センター
参加者80名

○出演者 岩田英憲(パンフルート)
森岡美和子(ピアノ)

阿品台在住の岩田英憲さんはパンフルートの先駆けで、第一人者として40年近く活動されNHKにも出演されています。今回は友人の森岡美和子さんのピアノに合わせ、やさしい音色のパイ(ナイ)の魅力をたっぷり聴かせて頂きました。最後に全員にカーネーションを持ち帰り頂き、お母さんに感謝の一日となりました。



4. 春の日帰り研修旅行

～旧伊藤伝右衛門邸～嘉穂劇場～宗像大社を巡る旅

○日 時 5月27日(金)8:00~20:00 参加者87名

伊藤伝右衛門は明治、日本の近代化を支えた筑後の石炭王として知られています。旧邸は四つの居住棟と三つの土蔵を持ち、池を配した広大な庭園と近代和風の建物は、今も和洋折衷の調和のとれた美しさを誇っています。その炭鉱で働いた男達の憩いの場所として多くの芝居小屋が栄えましたが、石炭の衰退とともに芝居小屋も姿を消して行きました。そんな中苦難を乗り越えて生き延びた嘉穂劇場は、今も多く公演を行い当時の面影を残しています。



旧伊藤伝右衛門邸



嘉穂劇場



体育部・青少年部

5、阿品台ウォーキング&宝探し

○日 時 6月26日(日)9:30~12:00 参加者142名
関係者を除き4.1kmコース39名(内子供15名)、2.5kmコース103名(内子供60名)が参加しました。今年から新たに各コースにサポートリーダーとアンカーリーダーが付き添い、今まで以上に細やかな不測の事態に備えました。10時頃に東小学校をスタートし、途中給水休憩を経てゴールの阿品公園までウォーキング。その後は宝探しを楽しみ、お土産を手にとりました。



青少年部

6、手焼きもみじまんじゅう体験in宮島

○日 時 8月21日(日)10:30~ 参加24名
○場 所 宮島伝統産業会館、みやじま工房
夏休みも終盤の猛暑の中、今年も開催されました。参加者は小学生、幼児とその保護者24名の参加となりました。日頃は出来上がったもみじまんじゅうを頬張るだけですが、今日は自作。何とか形を整え焼き上げた後はお口の中へ。楽しい半日はアツと言う間に過ぎて行きました。



地安部

7、廿日市市出前トーク

「阿品台地区土砂災害について」

○日 時 6月19日(日)10:00~12:00

○場 所 阿品台市民センター

廿日市市建設総務課から「土砂災害防止法の概要」、危機管理課から「土砂災害から身を守るために地域の住民がすべきことと、市役所がなすべきこと」。廿日市市防災指導員から「風水害における避難時の心得について」では、家族会議、非常持ち出し品の事前準備、逃げ遅れたときの対応など具体的な説明がありました。



8、夏休みパトロール

青少年の非行防止のため夏休み期間の7月23日から8月20日までの各土曜日に阿品台東・西小学校及び阿品台中学校のPTAと合同で、阿品公園周辺、阿品2丁目周辺から西小通学ルート、それにフジグラン店内及び周辺のパトロールを実施しました。



地域安全協議会が 「防犯功労団体賞」受賞

阿品台地域安全協議会が平成28年9月29日に防犯功労団体として表彰されました。全国38団体が対象で、広島県では当会だけです。受賞の主な理由は、夏・冬休みの夜間パトロールにより青少年の健全育成や環境浄化活動を推進していることです。平成23年に「社会安全貢献賞」に続き2度目の受賞です。

平成28年 全国地域

主催 (公財) 全国防犯



ラジオ体操の会が受賞

平成28年7月31日付で阿品台地区ラジオ体操会が広島県の表彰を受けました。

